

警城時報

編輯兼發行 印刷人 阿田弘成
印刷所 警城時報社
發行所 警城時報社
一部金貳圓 一月金卅圓
廣告料 一行十四字五十五錢
日刊(日曜祝祭日翌日休刊)

靖國社頭で父子對面

平から半谷とみ子さん

感激に胸躍らして上京

恩賜財團實人援護會では滿洲、市から唯一人選抜の半谷とみ子開き夏の武道大會開催につき協賛支那兩事變に際し名譽の戦死をさへは一時十二年十月二十八日議する
とけた軍人、軍屬の遺兒中尋常上海馬家宅の激戦で名譽の戦死
六年在學中の男女を全國から選とけた市内四丁目マルトモ食
拔し靖國神社に参拜せしむることに、堂主人佐長半谷壽長氏の一粒種
父子對面の親心を、さることに、第三小學校六年に在學し今
なつたが、平市及び北城郡下で、年十三才である、来る四月午前
十時四十分平發列車で母親すて、
△平市半谷とみ子△四倉通野さん、縣瀧川、齋藤兩主事に附
雅弘△内郷今政道△川前佐久添はれ感激に胸をどらして上京
聞した
靖國社頭で二年ぶりに心の父子
對面をする

四勇士合同市葬

七日第三小學校で執行

名譽の戦死病歿をとげた左記四人が平市及び北城郡では十六日
君の市葬は七日午後一時から第平市役所で開催ときました
三小學校講堂で執行される
△徳岡部隊上等兵丹野一郎
(五丁目)△同上等兵富田行雄
(一丁目)△高橋部隊隊員長豊
田勝一(杉平)△森田部隊隊員
等兵丸鐵男(仲間町)

選舉肅正會議

十六日平で開く

今秋九月執行の貴族院議員なら
びに縣會議員選舉肅正につき縣
ではこの趣旨を市町村に徹底せ
しめるため縣内各所で選舉事務
主任會議を開催することにまつ

水道擴張検査

内務技手ら來平

内務省技手春日卓男、同島田田
猪之吉、齋藤徳之助、縣屬三瓶
秀正、同技手神谷元太郎の四氏
は一日來平し昭和五、六、七年
に施工した平市上水道擴張工事
を検査した

郷軍武道大會

十二、三兩日舉行

郷軍平市聯合分會では三日午後
五時七時にかゝる町有林盜伐事件
の公判は三十一日平で開廷、

盜伐看守判決

四倉町有林看守人佐藤幸三郎

四倉町有林看守人佐藤幸三郎
五時七時にかゝる町有林盜伐事件
の公判は三十一日平で開廷、

分會員に斷髮令

簡閱点呼を前に嚴達

平市の本年度簡閱点呼は来る十求判四ヶ月に對し翌二月一
八、十九兩日第一小學校で歩兵年間執行簡閱の寛大な判決があ
大佐安達保藏氏によつて執行さつたが、佐藤は不服で即日控訴
れる(十八日第三、第五分會及
び神谷村、十九日第一、第四分
會)

警備兵の勞苦

滿支視察の旅

天領は大同、張家口間に於
ける大きな部落で立派な土の
城壁がある。沿線には兵
隊さんが警備してゐる。鐵
にもある。特に寒村の驛と鐵
との中間の鐵橋の秋のトーチ
カの上に鐵砲、着剣の旗々し
い姿の兵隊さんを見た時、何
とも云へぬ莊嚴味に打たれ目
然頭の下る思ひ、實に神々し
かつた。列車に乗つて警戒し

雄圖遂に空し

全國中等野球東北豫選 平商鶴工に無念の敗退

甲子團出場の潮を争ふ全國中たが一回、二回に鶴工の猛攻を
等學校野球大會東北大會は一日浴びて換ならす遂に十二對四
から山形中學校隊で舉行、福島のスコアで無念の敗退した
縣大會に天晴れ優勝した平商業
チムはこの日の第一試合に山
形の準優勝校鶴岡工業と對戦し
鶴工5420/000A.72

遺家族の裁縫奉仕

藤田女の夏季鍛錬行事

藤田女學校では夏季心身鍛錬行事物を依頼され勤勞奉仕と銃後
奉仕として市内出征遺家族の裁縫奉公の真心こめて熱心に針を運
奉仕を行ふことになり去月廿三日である
日からは木科、裁縫事務科各二年
師範科、専攻科生合計百八十名
が各家庭を訪問して約五百枚の
とになつた

豚小屋漸く移轉

大町一鎌田間貫通道路 地主の理解で愈々本極り

市内新川町から鎌田町へ抜けるが完成したのが字屋の内地内佐藤
第三小學校前新道は去る七、八築治氏所有の三十五坪の土地買
兩年度の時局警備事業として十枚交渉がまゝす市道路工事協賛資
年度に施工され市員八米、延長の痛となつてゐた、市當局なら
六百七十八米六〇の見事な道路に土木委員が数年越しに成り

漢日にて

蓮沼縣議より

茨城部隊最前線の將兵慰問致
候、敵との距離二、三百メ
トル、此の戦線約二十里、
トラックと馬馬にて(護衛兵
二十名内外、輕機二、小銃十
余)各將兵を慰問し昨十八日
歸漢し明日より第二陣〇〇部
隊の慰問に候
(七月二十日)

斷髮洋裝酌婦

前借踏んで逃走

三十日夜市内南町地内を徘徊す
る斷髮洋裝の若い女を平警署で調
問、好問村北好問生れ茨城
縣原町前料理店たまや方酌
婦志賀フミ(一八)で前借百五十
圓を踏倒して逃走したものと
市内某カフェー主人外一名はそ

平市人事錄

○出生 杉平八玉手利藏さん
二女圭子さん、南町七五杉山
芳松さん二男弘毅君、彌吉君
七小野田久松さん三男友吉君
白銀町二大原虎二さん五女
俊枝さん
○死亡 正月町一三鈴木義仁
さん(四八)、福小路九植村助
五郎さん(六四)、大町二四箱
崎サイさん(四〇)

天氣豫報

今晚も明日も南東の風晴
夕立減線

胃腸障害と 消化整腸に

驚く卓効!
双葉山定次

健康報

ホシヤコール錠を
是非慰問袋に
入れて下さい

ホシヤコール錠

急性慢性胃腸カタル及び
腸内異常發酵による下痢
症、食あたり、胃弱、嘔
氣、腹脹、宿醉、黄疳
ホシヤコール錠

難道問題四年振りに解決

平市大町から鎌田町に接する新道(第三小学校裏通り)開道問題は、本欄既報の如く一部地主との交渉纏らず、全長六百七十六米の内、五十米を越して工事停頓の状況にあつたが、市制實施以來二ヶ年間に亘つて土地問題に没頭してゐた土木委員一同は、任期満了を直前に控へ、前日に誠心誠意を披瀝して地主側と折衝を重ねてゐたが、地主佐藤榮治氏も委員の熱誠に動かされ、一切の行がりをサラリと捨て、心よく市の買収に應じ、同道踏踏工以來四年振りに去る二十九日調印を了した。

懸案の道路問題が解決に至つたことは、勿論土木委員諸君の努めに依るところであるが、佐藤地主が時局を認識し謙讓の美徳を發揮した愛市の發露であつて、吾人の深く感謝するところである。

同新道は大町から直線に新川町から鎌田町へ延長六百七十八米、幅員八米の長橋、鎌田線で、昭和十一年工費一万二千余圓で着工、全工程の九割九分まで進捗しながら停頓四ヶ年に亘つて工を繼續難工事であつた。

最後の土地も前述の如く圓滿解決を見るに至つた爲、直ちに着工、今年度中には開通を見る豫定で鎌田方面の住民は頗る利便を受けることになり、開通を期待されてゐる。

南町眼科から大町へ接する新道開道問題も、目下交渉中なるも、十二月まで

野澤式藏

洋酒と喫茶

麗人のサービス
気分本位の店

タイラギン辛通り
グリルバツカス
電話二一〇番

塩豚

コンボーク
平市大町
三三三三屋
電話三三三番

天藏省允許

無盡蔵

新設 電話一六四番

冷たい **生ビール**

滋養

平二・警察署通り
マールサ
電話二七一番

吸入用酸素 純度99%

モノサシ
ハカリ
マース

体温器
寒暖計

秤ノ取緒・鍍糸・修覆致シマス

関内薬局

電話四〇番

写真機
材料一式

婦人薬王 辨天湯

主治 子宮病・血の道・ヒステリー・産前産後の諸症・逆上・頭痛眩暈・手足腰の冷込み・こしけ・月經不順……等

効能

調劑本舗 **小野屋薬局**
平・四丁目 電話百四十四番

鑄物の代用品生る

セメント製マンホール 金貳圓の各種
同 風窓網 金四圓の各種

平市南町二〇

發賣元 **野内商會**
電話一一番

燒土管 在庫豊富

中古各種レール鐵管
礦山用機械・機具類
二大製鐵會社特約店
海軍工廠御用達

買賣仲介

合資 **平銅鐵機械商會**
代表社員 井尻七三郎
平市鍛冶町九(電話五三三番)

御買上品は精々御安く納品致します。
御拂下げ品は精々高價に買受けします。

冷凍魚

あじ 鯛 鮭 金頭 帆立貝
エビ イカ 貝類 其他

日本水産特約(電話三三三三番)
卸賣平製氷會社
尾箱平代理店 印魚問屋
四丁目(電話五三三番)

電話開設披露

此程電話 一六五番
新設致しました。

石城郡大浦村上仁井田

大谷材木店
電話一六五番

電話新設

當組合四倉罐詰工場の電話番號を左の如く變更致しました。

一六四番に

保證石城水産加工販賣利用組合
責任 聯合會 **四倉罐詰工場**

御婚禮御着附

パールマントウエーブ

御婚禮用髪を御利用下さい

和洋 結髪
オゾン美顔術
御染髮洗毛術

平市驛前
水野化粧院
電話(六七八)營業所
(五二五)自宅

債券・株式・現物賣買

平市三丁目
常陽證券株式會社
支店
電話七八四番

内臓外科
レントゲン科

北川外科

醫學博士 北川 芳夫
平市新川町(電話四六四)

晝夜診療
入院隨時

移轉廣告

今般左記へ新築移轉致候間御通知申上候

昭和十四年四月

平市南町十四番地(警察署通り角)
(舊診療所 平市六丁目)

木村外科醫院

木村 淳
電話三〇九番

◎入院應需

外科一般
内臓外科
性病科
肛門病科

第二輯 平市出身將兵慰問號



防空訓練好成績に終了

東部防衛司令部今年度第二次防空訓練は七月十八日から二十二日まで實施された、今次訓練は四月に改組された警防團とつての初の試練であり、警防團消防、救護、防護、交通整理各部の單一訓練ならびに警防團と家庭防空隊との協同訓練を主として行はれた。

十八日正午警報が發せられたこの夜は準備管制に入つてネオンサイン、廣告燈、門軒燈の管制が行はれた夏夜の彩る華やかな電氣看板は姿を消して薄墨の世界を現出第二日の十九日午後二時警報が發せられ警防團は直ちに所定の部署につき、家庭防空隊も家庭防護の軍任を擔つて防火用水、防火砂を準備してモンベ姿もり、しく敵機來れと待ち構へたが、この日は空襲警報は發せられず、明けて二十日午前九時突如無意味なサイレンは鳴りひびいて最初の空襲警報が發せられた、警防團、自衛隊、家庭防空隊が非常警備につく間もなく、赤旗を立てた假裝敵機が非常警備にベルの音もけたましく八方に飛んで市内十數ヶ所に擬裝爆弾を投下すれば、家庭防空隊は警防團との緊密な聯絡の下にバケツリレーも鮮やかに消火、避難防護にめざましい活躍をつづけた、この日は午後四時半、同八時すぎの二回に亘つて空襲警報があり第四日二十一日には午前五時、八時、十一時半、午後三時、七時、十一時半と空襲のサイレンは五度に及び、五百九十名の警防團と七百四十一名の家庭防空隊は各所に負傷者數名を出すほどの實戦さながらの真剣な猛訓練をつづけたのであつた、かくて二十二日拂曉四時五分今次訓練最後の空襲があり同六時警報解除となつて五日間に亘る尊い試練の幕を閉じた。

訓練第三日には高木部隊酒匂參謀、福島聯隊區司令官代理木田中佐、縣警本部木村警務課長が平市の模範訓練ぶりを視察しつづれその真剣ぶりを賞揚、二十二日午前七時から行はれた警防團に對する講評でも柴田平署長は恐らく縣下であらうと云つてわが警防團の活躍と家庭防空隊の努力を絶賛した。

慰問號の辭

本紙は、さき四月一日付を以て平市出身將兵慰問特輯號を發行し、長期建設下にあつて愈々發展途上を歩む平市の現勢を各方面に亘つて紹介、併せて完璧を誇る銃後陣容を蒐録し、これを遠く外地にあつて新東亞建設遂行の任に當る將兵諸君に致したところ幸ひにして征旅の陣中に慰問の一端を果すことを得て多數の禮狀を添ふしたことは衷心感激に堪へぬ次第である。

今回聖戰二周年を迎へて行はれた防空演習に於ける平警防團ならびに家庭防空隊の眞剣な活動と、四月以後の平市内外の動靜をお傳へすべく、こゝに再び慰問號を特輯した、炎熱百三十度を越ゆる大陸に勇戦奮闘せられる郷土將兵諸君の御勞苦を、本特輯號によつて些かなりとも慰むるを得ば本紙の喜びに過ぐるものはない

昭和十四年八月一日

警 城 時 報 社

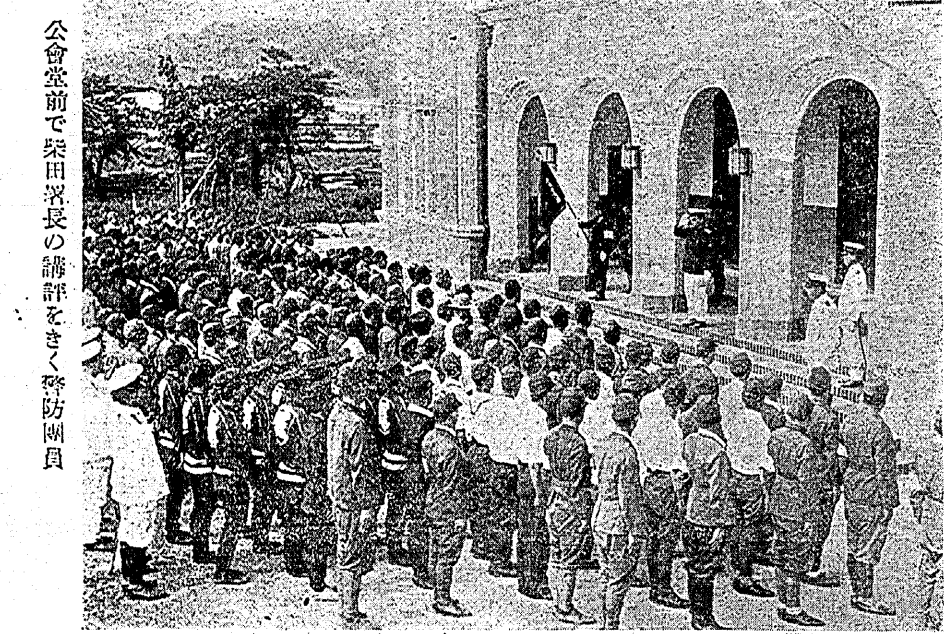
防空訓練を終へて

主腦部の感想を聴く



平市長 青沼鋒太郎

今次の訓練は準備期間短かく且つ警防團結成後初めての訓練にして然も酷暑の候にも拘らず概して良好の成績を収め得たるは市民一般の防空に對する認識を深め且つ眞摯にして熱心各々の職務に精勵すると共に警防團との聯絡宜しきを得たる結果にして眞に事變下に於ける防空訓練たるを思はしむものありたるは本市防空上誠に心強く御同慶に堪えざる所なり、殊に家庭防空隊の活動は多くは婦人なるに何れも眞摯にして熱心克く協力あつくまで防空精神を發揮し勇敢に値するものあり感謝に堪えざる次第である



公會堂前で柴田署長の講評をきく警防團員



平署警長 柴田鶴作

今次の防空演習は、激活な防空消防と迅速確實な警報傳達を以て今後何年續いても銃後は微動だに防と官民の防備能力を向上、併せてしないであらう、殊に婦人達の活動防空組織とこれが施設の強化促進が日本前途の秀れた部分を表面に現目的であつた、十四日から三日間のはした観があり、涙ぐましい努力が準備演習は各個々の機能を訓練、十拂はれてゐたのは力強い限りである八日から二十二日早晩まで五日間に銃後の空は斯くて完全に護られて亘り、結成最初の警防團、自衛隊を居ります、第一線將兵諸君は安心し始め、防空隊、一般家庭を目標に精つてその職分を全ふされるやう武運長神の方面と規律訓練に主眼点を置い久を祈願致します。



平市警防團長 關内正一

郷土部隊の慰問と北滿の産業視察軍將兵の勞苦を第一線に親しく見聞日露後、滿洲事變の戦跡巡拜の使命し、吾等銃後國民の覚悟を一層強固と帯びて六月二十日渡滿、引續き北にすべきことを痛感した。

支、中支に於ける今次聖戰の跡を訪 爆撃された主要都市の戦跡を視察ね、戦歿將兵に對して弔意の誠を捧し、空襲に依る慘害に、今更ながらけ、爆撃された主要都市の防空施設吾等の空を護ることの重要性を再確狀況視察のため約五日間に亘つて認ることが出来た、實地視察に依滿支を飛行してゐた關係上、警防團の新智識を基礎として吾が平市の空結成最初の意義ある防空演習に参加を確保するため万全を期するの覚悟出来なかつたのは甚だ遺憾である。でありますから、第一線の皆さんには百度を越ゆる炎熱と闘ひ、興亞新後顧の憂なく忠告報國の誠を盡され秩序建設の聖戰に参加してゐる、皇んことを切にお祈り申します。

二十二日晩の空襲下、平驛前に於ける警防團の綜合訓練



警防團と家庭防空群の活動

毒ガス弾投下

ガス弾は投下された、群長さんの指揮奮勵の下に附近住民は南戸を堅く閉じ、避難作業は秩序整然と行はれ、防毒班へ傳令は飛ぶ



救護班活動

防毒班と併行し、急行した救護班はガス中毒の負傷者を收容、處置は敏速に運ばれて……



防毒班出動

ガス弾投下の急報に時を移さず駆けつけた防毒班は消滅に消滅作業を進む……
平警防團の防毒班は縣下一の折紙を附されてゐる



防空群の炊出し

新田町の家庭防空群は、藝者衆も加はつて秩序整然、群長さんの號令一下リレー式のバケツ運びや陣陣の消火にアツパレ殊動を立てた女性群も朝の炊出しになごやかな風景



防空群の活動

焼夷弾は屋根へ……防空群は梯子をかけるのも忙しく此處でも真剣な消火作業は監視隊の賞讃を博しました

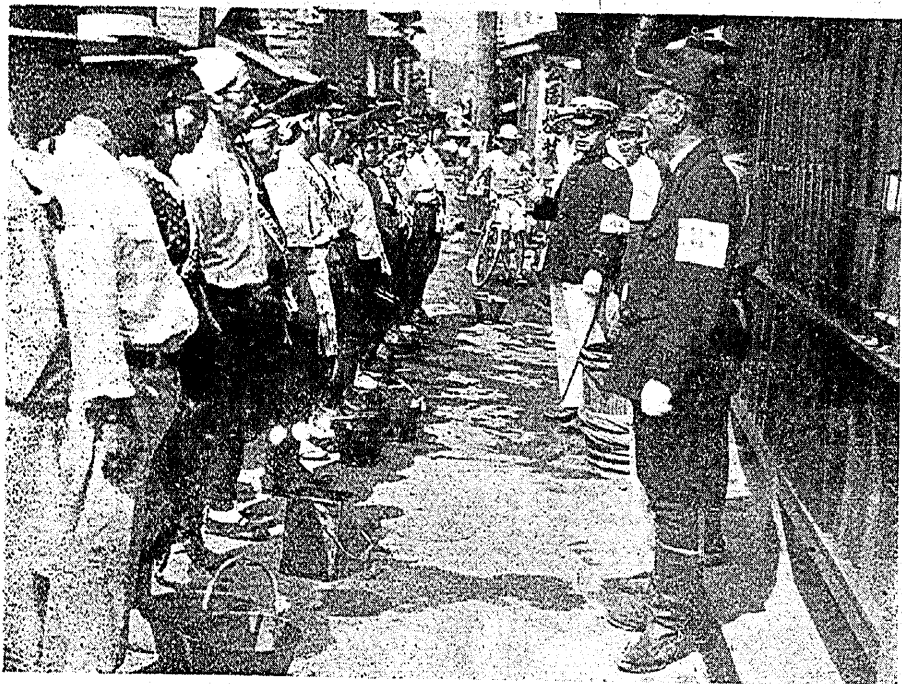


片倉自衛團

自衛團片倉警城製絲の糸廻群、タケリの馬穴も順序よく、護れ吾等の工場を……と消火作業に熱心です

柴田署長の査閲

仲家の武さん、整列!!の命令一下、番號の聲も勇ましく整列した學研の女性群、柴田署長の訓示に感激してゐます



平警察署
の緊張



部 本 團 防 警

警戒管制中の 主要部署を衝く

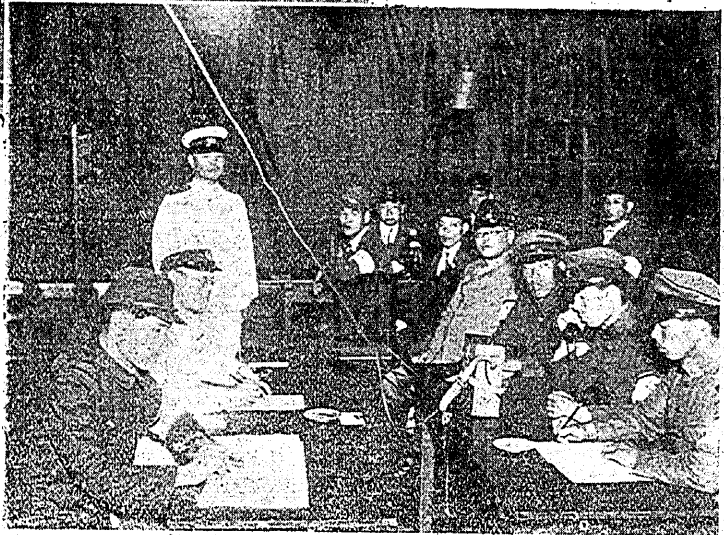
■ 警防團本部 關内團長留守中の本部は鈴木、大園兩副團長の指揮下にあつて一糸も亂れず、統制もガツチリ、今次演習成功の裏面に並々ならぬ苦心があつた。(寫真—報告を受ける鈴木氏と中央執務中の大園氏)

■ 警察署 空襲警報解除! の報を受けて、ホツト鹽ふ平濱のひと時。(左端柴田署長、三人目古山主任警部補)

■ 市防空本部 家庭防空群の指導と市警防三分團へ警報傳達の任務を帯びた市防空本部は、青沼市長以下徹夜して使命を果した。(右から二人目伊藤助役、青沼市長、西野收入役、四家防空主任)

■ 監視隊 本部情況監視隊は文字通り管下町村の耳目であり、電話のベルは間斷無く響く。……

監視隊の繁忙振り



↑ 市防空本部



← 情況現示班

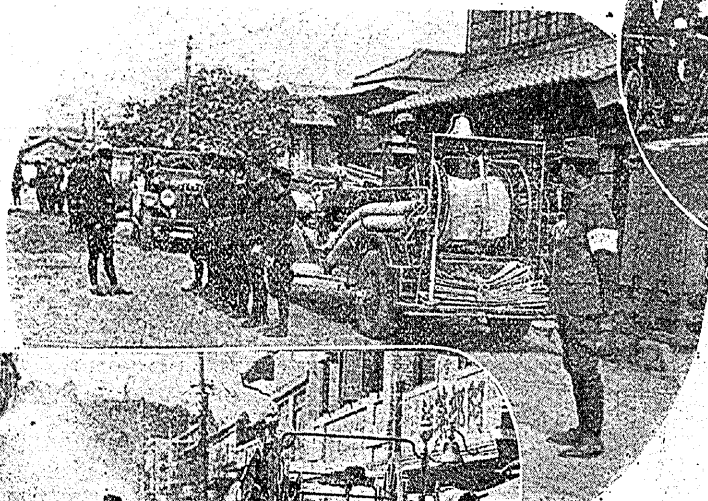


空襲警報 一度び

機假装の情況現示班は五十余名、空襲を報ずるサイレンと同時に數班に分れ、各々自轉車に爆弾を積載家庭防空群の處へ突いて焼夷彈を投下する右に左に、或ひは屋根へ……斯くて防空群の目覺しい活躍が開始される。

防空群の努力空しく、大火災起る。の假報發せられるや、待機中の自動車ポンプは現場へ急行空襲を怖れぬ訓練は漸次洗練されて行く……

→ 非常警報下の
消防部隊



← 消防部の消火作業



事變二周年を迎ふ



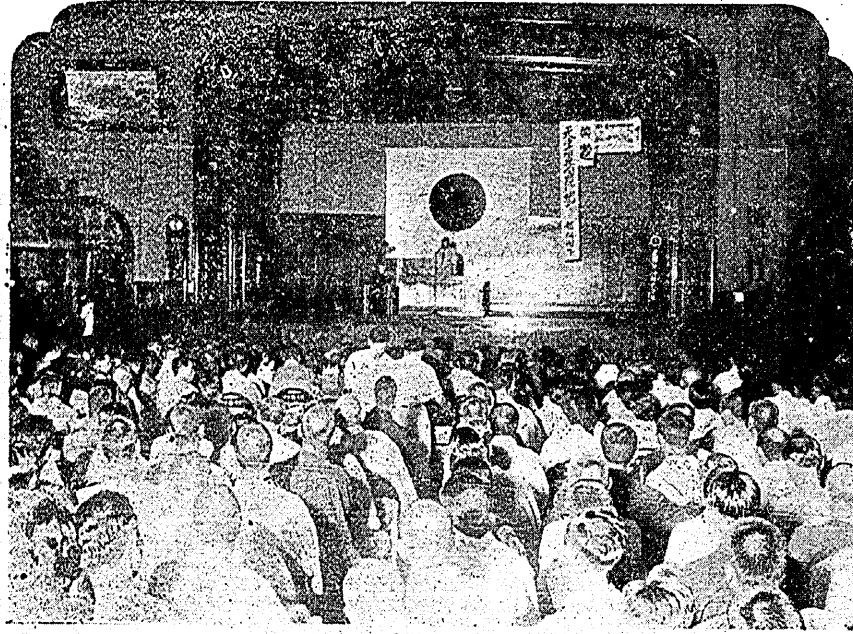
青年團のブラスバンド行進

四月以後の街の話題

四月
消防組を改組して市民の統後と消防隊を視察したのでこれを機に六號國道改修期成同盟會と小日第一小學校庭で舉行、四日工藤鐵道政務次官來平して懸案の改修の懸諾陳情を行つた、縣下平小鐵道經過路線を視察した、警察官の異動は十四日發令され十二日午後烈風中舊城跡物見ヶ岡荷神社は列車の飛火で一瞬にして烏有に歸した、奥羽六縣に於いては福島署長柴田鶴作氏が返任して鳥有に歸した、奥羽六縣に於いては十五日四倉南市場の春蘭初公會堂に開かれ議事に入るに先取りが行はれ高値は九圓四十錢を發した、縣下中等學校選抜野球大會は二十九、三十兩日郡山市に開かれ平商業は若松商業、福島中學、安中中學を破つて優勝した。

五月
警城中學校及び同窓會では六日同校出身の今次事變戦歿者十七柱の慰靈祭を執行、青年學校は四月一日から義務制となりその第一回入學式は十日公會堂で行はれたが今回の義務制による入學者千名のうち七百五十名出席した。

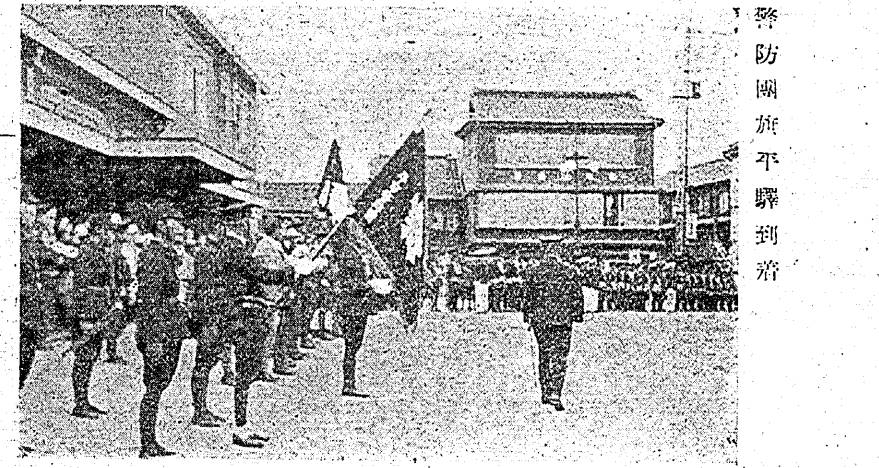
六月
木戸内相は十一日來平し十二日下に盛大な除幕式が執行された



(堂會公)式念記年周二變事

た、平警防團では新團旗を迎へて十一日午後三時から縣社子銀會神社で厳かな傳達式を舉行し團員全員出席し皆捧讀宣誓の後平警防團で規律訓練を行つた天津租界問題をめぐる日英東京會談を前にして平市各種團體主催の反英市民大會が十二日夜公會堂で開かれ會衆二千名は英國の援護態度を爆砕せよとの強硬な決議文を可決し、植松録磨少將の講演をきき大いに氣勢を揚げた、東部防衛司令部管下今年度第二次防空訓練は別所報の如く十八日から二十二日まで實施され市民の空への關心を見事に表現した、縣下中等野球大會は二十三日から四日開福島市で舉行され平商業は若松商業、白河中學、保原中學を破つて決勝戦に福島商業と對戦延長十三回の後遂にこれを破つて優勝した、滿支視察中の關内氏は二十九日四十日の長途の旅を終へて歸平した。

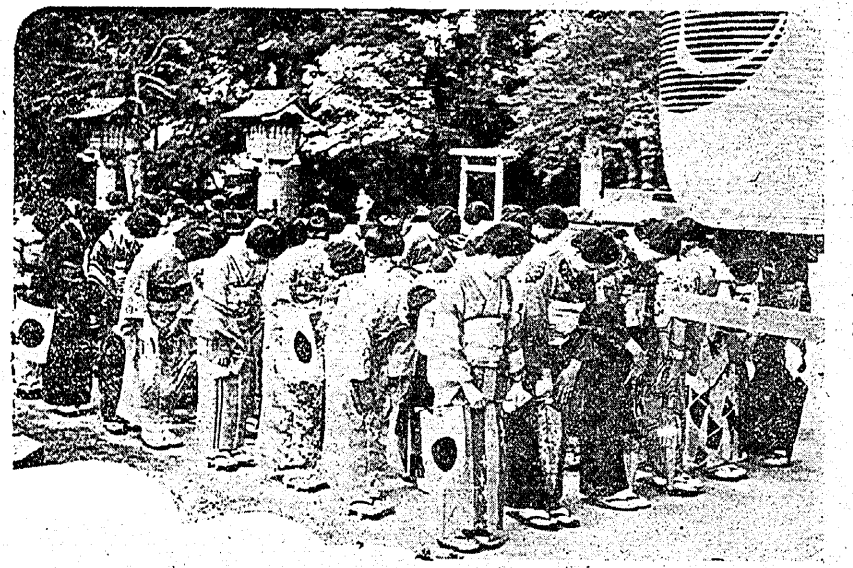
七月
支那事變記念日の七日、市では午前九時から公會堂で記念式を舉行し會衆千三百名と共に毎月七日は一汁一菜禁酒禁煙の非常時家庭生活實踐項目を決議し式終つて代表者は兩縣社に皇軍武運長久を祈りまた郷軍、愛婦、國婦の各幹部は市出身の今次事變戦歿者の墓参りと遺族慰問を行ひ青年團ブラスバンドは市中を晉樂行進し各小學校ともそれぞれ忠魂碑参拜、遺家族慰問、愛國行進等を行つた、此日市内の藝妓屋、料理屋、飲食店、遊廓カフェーは一齊に休業しそれぞれ縣社に参拜した上柴田署長から事變に關するお話をきき市民一名残らず自肅の一日を送つた青年團は今回長期建設下にあつて眞に興旺の推進力となるやう改組され團員は三十才以下といふことになり、團長には篠山第一校長が擧げられ七日事變記念式に先立ち公會堂で結成式を擧げ



警防團旗平購到着

武運長久を祈る

- 本社特輯號發行贊助員芳名(順不同)
- 平市軍事後援會
 - 平警察署
 - 平警防團
 - 諸橋久太郎
 - 平製氷株式會社
 - 片倉磐城製絲工場
 - 三井榮一
 - 平銀行團
 - 平藝妓屋組合
 - 平料理屋組合



願祈久長武運の運妓藝町田新

武運長久を祈り
暑中御伺申上候

磐城時報社
社長 佐藤作平
主幹 野澤武藏
岡田弘成
島田春雄